

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	17110	電話	042-769-8226
担当部課名	市民部	市民生活	課	
事務事業名	自治会長等功労者表彰費(自治会活動功労者表彰費)			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第7章	個性豊かなコミュニティづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	市民主体のまちづくり	63以前年度
施策名	第1施策	個性豊かな地域づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市自治会活動功労者感謝状贈呈要領

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	義務的経費	市単独事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
心のかよいあう明るいまちづくりを推進するため、地域住民の福祉向上に寄与したものに對し、感謝の意を表わす。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区自治会連合会会長3年以上 ・自治会長5年以上 ・自治会役員概ね10年
	対象数 49名
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
自治会長等49名に對し、感謝状を贈呈した。 日時 平成15年2月15日(土) 出席者 <ul style="list-style-type: none"> ・受賞者37名(欠席者12名) ・来賓18名(地区自治会連合会会長) ・主催者側6名(市長・両助役・収入役・教育長・市民部長) ・地区自治会連合会事務局長(出張所長)10名 決算額172千円(需用費169千円・使用料及び賃借料4千円)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

	指標名	指標式	指標設定の意図	15,16年度は目標値 指標の推移(年度)				
成果指標				12	13	14	15	16
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	126	141	172	160	160
	人員・時間数	1人・3.8日	1人・3.8日	1人・3.8日	1人・3.8日	1人・3.8日
	人件費	1,226	1,226	1,226	1,226	1,226
	その他経費					
	合計	1,352	1,367	1,398	1,386	1,386
特定財源						
	対象数	27	33	49	35	35
	対象の単位あたり経費	50.1	41.4	28.5	39.6	39.6

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	表彰基準に達した自治会活動功労者の全員を表彰できた。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 地域活動に貢献したことに対する、感謝の意を表する場として必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	地域と行政のパイプ役として活躍された功労者を顕彰することにより、労に報いることができた。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	本事業の費用対効果を考えると、効果が得られている。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	対象者は、各地区で推薦を受け、市自治会連合会で審査後、市に内申を諮っているため妥当である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 自治会大会(市自治会連合会主催)時の感謝状贈呈式に併せて実施することにより、広く自治会役員、自治会員等に周知が図られ、意識の向上・効率性等、事業効果が高い。	手段	
		削減額	0 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 基本的には顕彰する意義が大きいので、継続すべき事業である。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

市政功労表彰との一本化により、廃止を検討すること
